



星野文昭さんの絵
「暁子、チェルノブイリの思い・
フクシマの思いを抱きしめて」

■発行
星野さんを取り戻そう！全国再審連絡会議
■発行日 毎月15日
■購読料 1部100円（送料80円）
■連絡先 〒105-0004
東京都港区新橋2-8-16 石田ビル4階
TEL 03-3591-8224
FAX 03-3591-8226
■E-mail qq8u2cd9@dream.ocn.ne.jp
■URL <http://fhoshino.u.cnet-ta.ne.jp/>
■賛同会員 1口年間3,000円
（ニュース無料配布）
郵便振替 00110-5-155521

星野再審ニュース 219号



残暑見舞いを出してください

〒779-3133

徳島市入田町大久 200-1

星野 文昭様

〒370-0035

高崎市柴崎町 60-2 伊藤成雄様気付

奥深山 幸男様

8月号の紙面

あらゆる怒りと結合し

9・6 徳島刑務所デモへ 2

7・21 署名提出行動と申し入れ 3

7・31 ビデオ国賠上告理由書提出

各地の絵画展

絵画展、人民の怒りと次々結合 4

第21回沖縄総会 6

全国水平同盟大会への星野さんの

メッセージ

奥深山収穫祭

徳島面会日記 7

インフォメーション 8



7月21日、東京高裁第12刑事部に2万6千筆の署名を提出

戦争法案阻止・安倍政権打倒！

あらゆる怒りと結合し9・6徳島刑務所デモへ

高知で救援会結成

7月27日、「高知・星野さんを救う会」が新たに結成されました。四国では、徳島、愛媛に続き3番目、全国では29番目になります。代表は全通OBの島村文雄さんがつとめ、早速、9月に絵画展を開きます。

さらに、三重でも救援会結成にむけた闘いが進んでいます。



戦争法案強行採決弾劾！（7月15日、国会前）

「連鎖的に絵画展と集会を行い、全国に星野救援会を結成しよう」という方針が、物凄い勢いで実現されています。

安倍打倒、星野さん解放へ

衆議院で強行採決を行った安倍政権は、労働者民衆の怒りの前にグラグラです。

7月15日、星野文昭さんは面会に訪れた暁子さんに「安倍は墓穴を掘つた。強行採決すれば労働者民衆が諦めると思っているだろうが、そうはいかない。生命にかかわる問題だ」と語りました。星野さんが言う通り、戦争法案反対・安倍政権打倒の闘いはますます拡大し、あらゆる人々が立ち上がっています。

この日、韓国では逮捕令状が出されているハンサンギョン民主労総委員長が映像を通してパククネ打倒を訴え、第2次ゼネストが燃え上がっています。

危機に追い詰められた安倍政権は、7月15日の国会前2名不当逮捕（24日に取り戻されました）に続き、27日に

は、反戦闘争、反原発闘争の最先頭で闘っている「オープンスペース街」の2名を、あろうことか「詐欺罪」をでっち上げて逮捕しました。不当な弾圧をさらなる闘いの爆発で打ち破り、直ちに2名を取り戻そう。

獄壁超えた団結を

2012年2月5日と翌年9月8日のデモで私達の訴えは獄壁を越えて星野さんに届き、「まるで集団面会をしているようだ」と星野さんは語りました。

星野さんは、絶対反対、不屈・非転向の闘いを貫いています。星野さんは、「70年のような闘いを二度と許さない」という政府・国家権力の攻撃を、その根幹で打ち破っています。この闘いは国鉄闘争とまさに一体であり、今や「労働者階級の魂」となっています。8月までに全国で開

かれる絵画展は、総計50カ所にもなります。どの絵画展や集会も大成功し、「この闘いで星野文昭さんを取り戻せる」という確信が広がっています。労働組合と労働者階級が星野さん解放を自らの正面課題とし、地域総決起で実行委員会を形成して広範な決起を勝ちとっています。動労総連合建設、戦争反対・改憲阻止1000万人署名と一つになって、全証拠開示・再審開始の100万人署名をあらゆる労働組合、運動団体に持ち込み、実現しよう。

全国再審連絡会議 2015 年総会

日時 9月5日（土） 13:00 開場
14:00 開会
18:00 終了
会場 とくぎんトモニプラザ（徳島市徳島町城内2-1）
電話 088-625-3852

9・6 徳島刑務所デモ

街宣 9月6日（日） 10:00 徳島駅前
集合方針 ① 11:00 徳島駅前に集合
「星野希望バス」で集会場へ
② 11:00 徳島空港に集合
「星野希望バス」で集会場へ
③ 各地の会の車で集会場へ
集会 13:00 鮎喰川春日橋たもと
(2013年と同じ)
デモ出発 14:00
デモ終了 15:00
解散 16:00 徳島駅前、徳島空港

7月21日 署名2万6540筆を提出

100万人人民と結びつく展望開く 連鎖集会・絵画展の更なる発展を

7月21日、家族、共同代表、各地の救援会は、東京高裁第12刑事部に全証拠開示・再審開始を求める署名2万6540筆を提出しました。これまでに提出した署名は、総計6万5857筆になります。提出に先立って、東京高裁前で宣伝活動を行いました。

署名提出と同時に以下5点の申し入れを行いました。①検察官にすべての証拠の開示を命じてください。②事実調べを行ってください。③三者協議を開いてください。④再審開始を決定してください。⑤徳島刑務所の獄中処遇を改めさせてください。



7月21日、東京高裁前

星野暁子さんは「愛し合う者が手を握ることもできない苦痛に思いを至らせてほしい」と、今年5月、面会・手紙国賠の東京地裁判決を無視して面会不許可になったことを痛烈に弾劾し、直ちに再

審開始決定を行うよう訴えました。その後、各地の救援会が東京高裁を徹底追及しました。

昨年の11・29集会で「連鎖集会・絵画展で100万人の労働者民衆と結びつく」と訴えて以来、全国で絵画展と集会が開かれ、署名運動がうなりをあげて推進されてきました。今回提出した署名はその第一弾で、100万人

7月31日 ビデオ国賠上告理由書を提出

証拠隠滅の容認弾劾！

奥田正昭裁判長の極悪判決を打ち砕こう

7月31日、星野文昭さんと再審弁護団は、ビデオ国賠の「上告理由書」を最高裁に提出しました。東京高裁第9民事部奥田正昭裁判長が下した極悪判決を打ち破り、星野文昭さんの証拠へのアクセス権を認めさせるために、最高裁との闘いをやり抜こう。

「理由書」は、奥田裁判長が被告「敗訴部分を取り消す」として、星野さんがビデオテープを再審請求で使用する権利を全面的に否定したことを満身の

と結びつく展望を切り開くものです。この過程で労働組合とのつながりも次々につくられ、新橋の事務所に労組で取り組んだ署名が届け始めています。8月までに50カ所で絵画展が開催されます。全国で総計25万枚のビラが労働者民衆に手渡されます。絵画展・集会を通して、「星野さんを取り戻せる」という確信が生み出されています。戦争法案反対・安倍政権打倒の闘いに総決起し、100万人署名の実現へさらに闘いを進めよう。

京都すら主張していない屁理屈を持ち出してその責任を免除し、証拠隠滅をそのかしているのです。「理由書」は、奥田判決のペテンを暴き、これを破棄する以外ないことを最高裁に突きつけています。奥田判決は、保管機関である裁判所職員と警視庁公安総務課長が、ビデオテープが星野さんの再審請求審で重要な証拠となることを知っていたか、あるいは容易に予見できれば、その限りで、利用出来る権利があるとした上、本件の場合には予見できなかったから裁判所と公安総務課長は、証拠を「紛失」した責任は問われない、と不当判決を下したのです。

獄中40年の星野さんには、無実を晴らすために、一切の証拠を見る権利があります。最高裁寺田体制との闘いを貫き、奥田判決を絶対に打ち破ろう。

ビデオ国賠とは

▲星野さんの一審裁判で、証拠とされた沖縄闘争のテレビニュース(星野さんのデモ隊が撮影されている)を録画したビデオテープが、裁判所から警視庁公安部に違法に保管委託され、警視庁公安部が「紛失」しました。ビデオ国賠はこれを弾劾する裁判です。▲一審判決は星野さんの証拠へのアクセス権を認め、裁判所(国)と警視庁公安部(都)の責任を認めました。ところが二審で奥田正昭裁判長は、デタラメな理屈で星野さんの全面敗訴としました。

北九州

大きな感動で星野絵画展が大成功

九州 秋山 勝行

7月10日から12日まで、JR戸畑駅前の「ウェルとばた」で星野文昭さん絵画展が開かれ、訪問者約150名で大きく成功しました。

北九州では初めての開催でしたが、星野さんの絵を初めて見る人も多く、大きな感動をもって受け止められました。今回の最大の特徴は地元・北九州を基礎にした実行委員会を形成したこと。毎日新聞労組の林田英明さんを中心に、初日の設営から撤収まで北九州勢が中軸を担いました。3日間、「星野文昭さんの絵、暁子さんの詩」の展示を通して数多くの感動の出会いが生まれました。それぞれの小さな流れが確実に星野さんに届き、星野さん解放の大きな力となつて、必ずや徳島刑務所の扉を開くことを感じ



させる勇気の出る絵画展となりました。

11日には、会場満杯50人が参加して、沖繩・平良修さんの講演会が行われました。共同代表の平良さんの訴えは、星野さんを「外側から」助けに行くというのではなく、自分自身を星野さんと一体化し、正義が不正義に日本帝国主義を断罪するものとして、火を噴くような激しさと説得性のあるものでした。平良さんは、1879年以来的「琉球処分」の歴史を通して日本帝国主義の沖繩に対する弾圧と差別の実態を明らかにし、同時にそれがアジア侵略のため

兵庫

星野闘争・絵画展はゼネスト開くテコ

兵庫 新田 和生

6月27日、29日、西宮と神戸の勤労会館で「婦人民主クラブ」阪神読者会、兵庫労組交流センター、関西合同労働組合阪神支部で実行委員会を作り星野絵画展を開催しました。初日は、関西合同労働組合の第2回大会を会場で開催し、計80名を超える参加者と60筆の署名が寄せられました。安保戦争法案の衆院強行採決と韓国民主労総の7月第二次ゼネストが切迫する中での開催でした。

成功に向けて自治体職場へのビラ入れ、15年不屈・非妥協に「解雇撤回・原職復

の最前線基地としてもあったことを明らかにしました。沖繩のベテラン的「返還」政策に反対して闘った星野さんの闘いの圧倒的正義性は明らかであり、沖繩を含む全国の労働者市民すべてをあげた団結した力で星野さんを奪い返さなくてはならないと、力説されました。『毎日新聞』、『西日本新聞』に紹介記事が掲載されたこともあって「新聞を見て来た」という方が多かったのも特徴です。「全証拠開示」要求署名は51筆集まりました。

星野闘争は確実に全九州に広がっています。そのためには、この絵画展の連鎖を来年につなげていくことが重要であることを感じます。9月6日の徳島刑務所大包围行動を成功させましょう！

帰」を闘い抜く「かねひろ闘争」での宣伝や周辺労組の訪問、動労千葉物資販売での呼びかけも行いました。

初めて星野さんのことを知った方がほとんどでした。アンケートを紹介すると「志を変えず、獄中40年、非転向、尊敬します。新自由主義の社会をかならず打倒し労働者による革命を信じます」「美しい色彩が星野さんの心を写している様に感じました」「暁子さんの絵を見てどれもよく描かれていると思いました」「無事に出てほしい」「すばらしい絵を見せ

て頂いて感動しました。無実を信じます。絶対あきらめずがんばって下さい。必ず明るい未来が来ます」など。

スタッフの家族、青年労働者、70年闘争を闘った団塊の世代、自営業者など老若男女、様々の階層の方が鑑賞しました。戦争絶対反対、不屈非妥協の闘いとその表現としての絵画に誰もが感動し、一日も早い解放を願っていました。

星野闘争・絵画展は新自由主義の「全てを奪う」攻撃に全てを奪い返し、全てを解放する、と同時にゼネストを切り開くテコであり、戦争への道を阻止し、労働者が主人公の社会を建設する闘いと改めて実感しました。

9月6日の徳島刑務所闘争を戦争絶対反対・星野解放闘争として、労働組合を先頭に総結集しましょう。



三重

三重で初の星野絵画展に大きな反響

三重 鈴木 啓文

7月17日から3日間、三重県伊勢市のいせトピアで星野絵画展を開催しました。台風の影響で初日はほとんど来場がありませんでしたが、翌日の地方版に写真入りで絵画展の様子が報道され、星野さんが獄中で描いた絵を一度見てみたいと70名の参加を得ました。事前の三重県教組、自治労、教会関係者への再審署名の要請で大きな手ごたえを得、初の絵画展の成功で県内での会員拡大、絵画展の連続開催、本格的な取り戻す会発足に展望を開くことができました。

初めて星野さんのことを知ったという画家は、「落ち着いて描いておられますね。無実で早く出られることを願っています」と激励。また東京の再審署名活動で知り合った方も、地元での絵画展を聞きつけて来場し、「これは見せしめですよ」と権力への怒りを表明されました。



7月18日、『中日新聞』朝刊

さらに、「名張ぶどう酒事件」に詳しい40代の男性は、自らの調査を基に奥西死刑囚の

無実を確信している方で、星野さんの闘いにも強い関心をもって話し込んでいかれました。「ひとりの人の人生がえん罪で蹂躪されるなんてとんでもないことです」「40年間も無実を訴えるということとは、並大抵のことではない。星野さんは無実に違いありません。仕事の上で多少心理学に関わっている経験からも確信します」と『愛と革命』を手に取られまし

越谷

国会情勢と一体で闘いぬく

越谷 米山 實則

越谷絵画展は7月13日から19日という戦争国会の開かれていた真ただ中で開催されるという感動的な絵画展になりました。会場に訪れた人たちに「44年前の星野さんたちの沖縄闘争も今の国会をめぐる闘いとまったく同じ」と話すと、半世紀近い時を超えてたちまち共感してくれました。

ビラ3000枚を作成して10000枚をさいたまユニオンにお願いした時点で事態は一変しました。埼玉全域の労組と団体に配布したいということで、4000枚を増刷しほば撒ききるといいう画期的な闘いとなりました。絵画展への入場者は183人、署名数

た。既存の運動には今まで接点はないけれど、3・11以降、個人として発信し続けている方が、たまたま別の用件で来場され、星野さんの存在に出会う偶然と必然を強く感じました。

他にも三教組南勢高支部のOBの方が、「帝銀事件」の平沢死刑囚の絵画展以来の催しと自ら位置づけ星野絵画展を心待ちにして来場されました。また、DVDを最後まで相槌を打ちながら見た30代の男性は、「国家と革命」の問題として深く獄中40年の星野さんの闘いをとらえていたようです。

は63筆、『愛と革命』4冊、カレンダー10冊、会場カンパほぼ2万円で、アンケートにも多くの人がこたえてくれました。会員のお母さんが初日の未明に逝去するという事態があり、初日の飾り付けが危機に陥るなかで、協賛のさいたまユニオンから駆けつけてくれてギリギリで開催に間に合いました。

決定的だったのは、会場が越谷市役所の隣ということもあり、越谷市職組の階級的労働運動の再生の闘いと一体の絵画展となったことです。越谷市職員の方も数名が会場を訪れて、いよいよ星野闘争が労働組合と一体となって、階級的労働運動の再生の闘いに踏み出したのです。



周辺地域へのビラ入れにも市職からの決起があり、実際にそのビラをもつてご夫婦が絵画展を訪れ、皆を感動させました。星野さんの絵画が持つメッセージ性は、獄中40年を不屈に貫いている生き方そのものであり、思想そのものを表現しているのです。絵画展の可能性を改めて確信しました。この絵画展成功の力で100万署名の実現に向かって、9・6徳島に決起しよう。

京都

京都では、祇園祭の7月16日から20日まで、ひとまち交流館で星野絵画展を開催しました。最初は台風直撃のためほとんど入場者がなかったのですが、後半盛り返して120人が来場し、熱心に鑑賞していただきました。署名は85筆集まり、詩画集が2冊、CD「ソリダリティ」が



1枚売れました。カンパは2万3690円集まりました。これをバネに、9・6徳島刑務所デモに突き進みます。

第21回沖縄総会

絵画展の画期的成功から沖縄全島ゼネストへ

沖縄 和田 邦子

7月18日、北谷ニライセンターで新たな会員も迎え「沖縄万人の力で星野さんを取り戻す会」第21回総会が開かれました。5月の沖縄星野絵画展と沖縄闘争過程での多くの感動と出会い、会員拡大、安倍政権の安保関連法案衆院強行採決と辺野古基地建設強行への怒りと闘いの歴史的高揚の中で総会は、星野闘争の確固たる前進を実感させるものでした。

司会と会長挨拶の後、13年の徳島刑務所デモDVDが上映され、ソリダリティを合唱しました。絵画展実行委員会から、絵画展でのアンケートをコピーして星野さんへ差し入れたら、「まるで一人ひとりと会っているようだ」との星野さんの言葉が紹介され、平良修さんからは実行委員会の下での大成功が語られました。

事務局からは総括として星野闘争の巨大な前進を切り開いた1年の闘いが絵画展成功の総括に凝縮されるとし、一、沖縄闘争でつち上げ、不屈の獄中40年への沖縄の怒りと共感。二、星野闘争の持つ根源的・普遍的力Ⅱ「オール沖縄」を乗り越える新自由主義との全面的闘い。三、新自由主義と闘う

国鉄闘争を沖縄でやりぬいてきたことが星野闘争全面開花の素地を作ってきた。四、実行委員会を結成し、縦横無尽に闘った、と提起がありました。

方針は、一、安倍政権の戦争への道が労働組合つぶしⅡ産業報国会にする方向で進んでいるのに対し、国鉄闘争基軸で闘う事が星野闘争勝利の土台となる。二、絵画展陣形は宝で、その団結強化で会員・署名拡大・労組訪問。三、9月刑務所闘争成功へ。四、全島ゼネストで星野さんを取り戻そう、と提起され、採択されました。

討論ではIJB S労組書記長の青年労働者が絵画展で受付をした時の感動、星野さんは獄中においても青年の、非正規労働者の苦闘がわかり、一緒に闘ってくれる人であり獄内外の壁など関係



ない、一緒に闘おう、と元氣あふれる発言。初参加者の方も全証拠開示の重要性を語られ、実り多い総会となりました。

全国水平同盟大会でゼネストの先頭に立つと戦闘宣言



7月19日、全国水平同盟は第4回大会を、全国から大阪に180人が結集して開催しました。安倍政

権の戦争攻撃に、全国に水平同盟の旗を打ち立て、安倍打倒、ゼネストを実現する闘いの先頭に立つ戦闘宣言を発しました。星野さんは獄中から連帯のメッセージを送りました。

奥深山収穫祭

梅雨明けの7月19日炎天下、猛暑処に参加しました。夏の奥深山農園収穫祭じゃが芋の収穫量は期待出来ないとの事前の話でしたが、それでも粒の大きさはなかなかの物、大満足です。

奥深山さんも熱中症の恐れがあるような暑さの中、元気に参加しました。身体のことを考え、ナス、ピーマン等を取って早めに食事会場へ移動。常連

星野さんのメッセージ

団結の力で住宅を守る、世の中を変えようという西郡の闘いは、高槻植木団地や、崇仁、東三条につながる300万部落労働者人民とすべての人民につながる展望を開いていることを、共に喜びたいと思います。

今、安倍が、戦争の地獄のふたを開けようとし、総非正規化によって生きられない現実の中で、西郡を先頭とした団結の力で、安倍と資本・権力を倒し、すべてを奪い返し、誰もが人間らしく生きられる社会を実現する闘いが、すべての労働者人民の希望となり、力になろうとしています。

共に、星野、国鉄、すべての闘いと一つに闘い、勝利しましょう。

(星野 文昭)

の狩野さんが水平同盟大会のため関西に行ったように、いくつもの闘いが重なり食事会参加者は多くはありません。しかし、数は少なれば少ないもののアットホームな交流会になりました。新じゃがで作ったカレーは農作業後には格別。安倍の戦争法案強行採決直後と言うこともあり、闘いの話は弾みます。奥深山さん・星野さんの闘いが安倍を根底で直撃していることを再確認し、夜のナゼン東京集会を目指し関越道で帰路につきました。(谷沢備作)

徳島面会日記

「衆院強行採決で安倍政権は墓穴を掘った」

星野 暁子

7月13日 くもり。獄外の病院での検査の結果、文昭の湿疹は、「かいせん」ではないことがわかった。

『スミソリン』を2回全身に塗ったので、かいせんを殺したのかもしれない。ステロイド剤を飲んだりつけたりするようになってから、画期的にようになったようだ。「そのおかげで『物忘れ』も自分でもびつくりするほど改善された」と文昭は笑った。

愛・絆・団結を力にして

14日 暑い日だった。この日のテーマは安保沖縄闘争と星野。12日の杉並での労働学校でのテーマだったことからそんな話になった。

「安保・沖縄闘争と星野は一体の闘いだ。沖縄の闘いだけではなく、大きく本土の闘いが、世の中の流れを変え、闘いとしてつくられる中で、それを



星野暁子さん

つぶすために星野無期攻撃がかけられた。破防法、カクマルの襲撃があった。それらの弾圧を乗り越える闘いとして、国鉄と星野の闘いがあつた。70年の闘いを労働運動の中で発展させていったのが動労千葉の闘いだ。星野無期攻撃、分割民営化攻撃は、国鉄と星野が全体の闘いを切り開こうとしたことに對して弾圧してきたものだ。

J R郡山工場の橋本さんは、星野と国鉄闘争を自分のものとしてうち立てた。国鉄・星野一体のものとしてとらえて闘う。何に依拠して闘うかという時、労働者の持つている本来の力を信頼する。愛・きずな・団結を力にしてはね返すということだと思う。そういう闘いの展望を開いている。そこにみんな希望を感じてくれている。文昭の話は、とまらなかつた。

15日 安保法案が国会の特別委員会で通った直後の面会だった。「お昼のニュースで国会にかけつけた主婦、会社員、学生、労働者の真剣なコールが映し出されていたよ」

「安倍政権は墓穴を掘った。強行採決すれば諦めてしまうと思っっているけど、今回の法案は生命にかかわる法案だ。戦争を経験した人、60代、新しい世代、諦めてしまえば本当に戦争を許してしまう。廃案にするまで続く闘いになる。これで逆に闘いが盛り上がる。ゼネスト情勢を大きく作り出していく転換点だ。アベノミクスだけで票をとってきたけど、来年の参議院選は、戦争法案を許すのかどうか焦点になる。朝日の世論調査でも安保法案反対60%、安倍政権支持は31%。不支持40%だ。確信を持つて具体的闘いを作り出していくことが大事だ。」

共産党は自衛戦争はいいと言っている。すべての戦争に反対、自分たちの力に気づいてそれをとり戻すことだ。この日も、文昭は熱く語った。

詩の感想もあると嬉しい

16日 台風が近づいていた。雨が止まなかつたが、その分すずしくなった。宅下げした絵「暁子、チェルノブイリの思い・フクシマの思いを抱きしめて」をいつしよに見ながらの面会だ。チェルノブイリの女の子を私が抱きしめていた作品だ。コンクールに出していた絵だ。前は3年待たないと戻ってこなかったが、最近は1年で戻ってくるようになった。「いいんじゃない」と私が言うのと、「暁子がそう言ってくれるとほっとするんだ」と言った。今まで

の作品の中で一番いいのではないかと、文昭は言った。

絵画展の話になった。「自分たちの課題として星野絵画展に取り組んで、各地の仲間が先頭に立って行い、組合や様々な運動の拡大につながっていることがうれしい」

沖縄での絵画展のことが今回も話題になった。「人間の素晴らしさを感じたという感想がうれしい。沖縄では、絵だけではなく、詩がよかったという感想が多かった。言葉に對する文化があるのかもしれない。絵だけでなく、詩の感想もあるとうれしいよ」と文昭。修三さんに電話して、札幌での絵画展の様子を聞いたと伝えると、文昭は「修三の版画は、ああいう世界を描いたものとして評価している。現代アートの人たちに負けていない。頑張っしてほしい」とエールを送った。

17日 最後の面会。「再審・無罪の力で釈放の道を開いていく。出さざるをえない状況を作っていく。戦争にみんなが向き合って、立ち上がっていく時代だ。自民党の政治は終わりで。そう文昭は言っ、充実した5日間の面会を終えた。

台風と重なり心配したが、夕方の便に切り替えてなんとか帰ってこれた。

星野文昭さんの歩みと裁判・再審

1946. 4. 27 札幌市に生まれる
 1962. 4 道立月寒高校入学、翌年、生徒会長をつとめる
 1966. 4 高崎経済大学入学、不正入試阻止闘争に参加
 (記録映画「庄殺の森」に登場)
 1969 同大学再建自治会執行委員会副委員長就任
 1971 春 成田国際空港反対闘争支援のため千葉県三里塚
 に常駐 7月、9月の闘争で指名手配を受ける
 1971. 11. 14 沖縄返還協定批准阻止闘争(渋谷闘争)に参加
 1名の機動隊員がデモ隊との衝突で火傷死(渋谷事件)
 1972. 2. 21 渋谷事件で殺人罪指名手配を受ける
 1975. 8. 6 不当逮捕
 1979. 2. 13 死刑求刑、死刑阻止12万筆署名集まる
 8. 21 一審判決、懲役20年
 12. 2 「星野・奥深山・荒川三君を救う会」結成
 1983. 7. 13 二審判決・無期懲役
 1986. 9. 17 暁子さんと獄中結婚
 1987. 7. 17 最高裁上告棄却・無期懲役確定
 10. 30 徳島刑務所移監
 1988. 杉並と徳島で「救う会」発足
 (以降、全国で27の救援会が結成されている)
 1990. 11. 27 父、三郎さん逝去
 1991. 5. 15 再審弁護団結成
 1996. 1. 28 「星野さんを取り戻そう!全国再審連絡会議」発足
 4. 17 再審請求書提出
 8 「ゴキブリを踏んだ足を洗った」として20日間の懲罰
 2000. 2. 22 再審請求棄却決定
 2. 24 異議申立
 2004. 1. 19 異議申立棄却
 1. 23 最高裁に特別抗告
 2006. 6 友人面会実現(以降、94人が面会)
 2007. 6. 8 母、美智恵さん逝去
 2008. 7. 14 最高裁、特別抗告棄却決定
 2009. 11. 27 第2次再審請求書提出
 2010. 3. 24 東京高裁に対して証拠開示請求
 3~4 星野さんに2度の懲罰(1週間の閉居罰と戒告)
 2011. 4. 4 ビデオ国賠訴訟提訴
 11. 14 面会・手紙国賠訴訟提訴
 2012. 2. 5 徳島刑務所包囲デモを600名で闘う
 3. 30 東京高裁第11刑事部(若原正樹裁判長)が再審棄却決定
 4. 3 東京高裁に異議申立
 5 全証拠開示大運動開始
 12. 4 証拠開示請求書提出
 2013. 5. 17 証拠開示を求める弁護団意見書提出
 9. 8 9・8徳島刑務所デモ
 2014. 7. 18 面会・手紙国賠判決
 9. 9 ビデオ国賠勝利判決
 11. 29 11.29全国集会に470名が結集
 2015. 3. 13 弁護団「意見書」提出
 6. 6 全国討論会開催
 7. 21 署名提出

全証拠開示・第2次再審署名 65,857 筆(7月21日現在)

インフォメーション

■ 松山絵画展

日時 8月20日(木)~22日(土)
 場所 松山市民会館第2会議室(JR松山駅)

■ 星野愛媛集会

日時 8月22日(土)18時 講師 藤田城治弁護士

■ 宇都宮絵画展

日時 8月20日(木)~23日(日)
 場所 宇都宮市南図書館(JR雀宮駅徒歩10分)

■ 川崎絵画展

日時 8月21日(金)~23日(日)
 場所 川崎市教育文化会館市民ギャラリー1F(JR川崎駅)

■ 高松絵画展

日時 8月22日(土)~23日(日)
 場所 生涯学習センターまなびCAN3F市民ギャラリー(JR高松駅)

■ 三多摩星野絵画展

日時 8月21日(金)~23日(日)
 場所 八王子市北野市民センター7階展示室(京王線北野駅)

■ 記念講演

「被爆の実相を語る」講師:上田紘治さん
 日時 8月22日(土)午後2時~4時 午後6時~8時

■ 杉並絵画展

日時 8月27日(木)~31日(月)
 場所 阿佐ヶ谷地域区民センター阿佐ヶ谷ぶらっとりー(JR阿佐ヶ谷駅)

■ 今こそ星野文昭さんを取り戻そう!集会

日時 8月30日(日)19時開始
 場所 阿佐ヶ谷地域区民センター第4・5集会室
 講師:岩井 信弁護士 星野暁子さん

■ 千葉・成田絵画展

日時 8月27日(木)~29日(土)
 場所 もりんぴあ・こうづ(京成線公津の杜駅徒歩5分)

■ 秋田絵画展

日時 8月28日(金)~30日(日)
 場所 彩画堂ギャラリー(秋田市大町3-3-46)

■ 加須絵画展

日時 8月30日(日)
 場所 市民プラザかぞ(加須市中央2-4-17)

■ 岡山絵画展

日時 9月3日(木)~4日(金)
 場所 奉還町りぶら1Fギャラリー(JR岡山駅)

国賠裁判

■ 面会・手紙国賠控訴審判決公判

日時 9月16日(水)13時15分
 場所 東京高裁 809号法廷

● 財政報告 2015/7 単位円

- (1) 収入 290,642
 ①賛同金 44,820 ②基金 13,000 ③カンパ 169,213
 ④頒布物売り上げ 62,988 ⑤繰越金 621
 (2) 支出 290,291
 ①獄中支援、処遇関係費 45,000
 ②救援運動経費 245,291
 通信費 33,749 発送費 91,764 運営費 6,600
 頒布物制作費 107,258 コピー 450 印刷代 5,470
 (3) 繰越金 351

● 第4期再審カンパ会計 2015/7

- (1) 7月カンパ 73,600 (累計 1,583,082)
 (2) 7月支出 61,608
 (3) 前月繰越金 -170,673
 (4) 翌月繰越金 -158,681

第4期再審250万円カンパのお願い

▲7月は7万3600円のカンパを寄せて頂きました。感謝申しあげます。7月末で、今期カンパ累計は158万3082円となりました。今期集約は8月末日です。後1ヶ月、全力で達成に向け取り組んで下さい。▲ビデオ国賠は上告しました。面会・手紙国賠は9月16日が控訴審判決ですが、不当判決の場合には、断固上告します。上告にともなうま

とまった費用が必要です。また、星野さんへの接見もより強化していきたいと考えています。絵画展の成功に見られる運動の前進を、財政的強化に発展させていきましょう。

カンパ送金先

郵便振替口座 00110-5-155521
 〒105-0004 東京都港区新橋2-8-16 石田ビル4階
 星野さんを取り戻そう!全国再審連絡会議
 TEL 03-3591-8224 FAX 03-3591-8226